

## 第64回秋田県高等学校総合体育大会 角館高校弓道部 団体戦で男女ともに初優勝 男子個人戦で藤田純葵くんが準優勝

6月3日から5日にかけて秋田県立武道館（秋田市）で開催された「第64回秋田県高等学校総合体育大会弓道競技」で角館高校弓道部が団体戦で男女ともに創部以来初めてとなる全県優勝を果たしました。

1人4本の矢を引き、それを5人の的中合計数で競う団体戦には男子15校、女子17校が参加し、角館高校は男女ともに最後まで集中力を切らさず、見事念願の初優勝を飾りました。また、男子個人戦では、藤田純葵くん（3年）が準優勝となりました。

男子キャプテンの高橋天くん（3年）は「インターハイでは、挑戦者の気持ちを忘れず、のびのびと戦ってきたい」と抱負を語ってくれました。

優勝した男女の団体と準優勝した個人の藤田くんは、8月2日から静岡岡袋井市で開催される「全国高等学校総合体育大会（インターハイ）弓道競技」に出場します。



団体戦で男女ともに初の全県優勝の栄冠を手にした角館高校弓道部の皆さん。

## 第41回秋田県スポーツ少年団競技別（サッカー）交流大会 兼第8回ブラウブリッツ秋田杯少年サッカー大会 FC角館セレジエスタが準優勝

6月9日・10日、TDK秋田総合スポーツセンター（にかほ市）で開催された「第41回秋田県スポーツ少年団競技別（サッカー）交流大会兼第8回ブラウブリッツ秋田杯少年サッカー大会」でFC角館セレジエスタが準優勝し、東北大会への切符をつかみました。

県内の各地域代表32チームによるトーナメント戦で行われた今大会



FC角館セレジエスタは、7月15日・16日に山形県天童市で開催される東北大会に秋田県代表として出場します。

会、FC角館セレジエスタは、苦しい戦いながらも決勝まで駒を進め、最後は惜しくもスポルティフ秋田（秋田市）に敗れましたが、準優勝と健闘しました。

キャプテンの山形一世紀くん（角館小学校6年）は「きつい試合が多かったけど、みんなあきらめなかったので、準優勝することができた」と大会を振り返りました。

## 田沢湖クニマス未来館 観覧者3万人達成！



倉橋副市長（右）から記念の感謝状を受け取る澤山カツヨさん（左）。

6月27日、田沢湖クニマス未来館の観覧者が3万人に達しました。

3万人目となったのは、千葉県千葉市の澤山カツヨさん。西木町西明寺出身のご主人が喜寿のお祝い、ご夫婦が金婚のお祝いで、仙北市を訪れていたそうです。

滞在中、市内をご主人の同級生たちと回り、昨日も田沢湖クニマス未来館を訪れたところ、あいにくの休館日。再度立ち寄り、3万人目となりました。

倉橋副市長から感謝状とクニマスの記念品を受け取った澤山さんは「突然のセレモニーにびっくり。初めて訪れたクニマス未来館でまさか自分がという感じです。仙北市は魅力的なところがたくさんあるのでまた来たい」と話していました。

## 秋田建築労働組合角館支部 第23回住宅デー

6月17日、秋田建築労働組合角館支部による「第23回住宅デー」が立町ポケットパークで開催されました。会場では、無料で包丁研ぎが行われ、たほか、木工教室が行われ、子どもたちが金つちの打ち方などを教わりながら状態しを作る様子が見られました。

また、ひのきないこども園

では、5人の同支部の職人がボランティアで園内のフロアリングや網戸などの壊れた部分の補修を行いました。大石良助角館支部長は「毎年行っているこの活動は、職人により支えられている。住宅デーを通して当支部の活動を皆さんに知っていただければ」と話していました。



立町ポケットパークで行われた無料の包丁研ぎ。

## あきらめずチャレンジを



春名さんと子どもたちとの『夢トーク』。チャレンジする大切さを学びました。

## 夢の教室

日本サッカー協会主催

6月19日、日本サッカー協会主催の「夢の教室」が生保内小学校で開催され、5年生の児童32人が、元アイスホッケー選手の春名真仁さんの授業を受けました。最初に体育館で体を動かすゲームを行った後、教室に移動して子どもたちに夢を持つことの大切さを伝える夢トークが行われました。

春名さんは、アイスホッケーを始めた子ども頃から42歳の現役引退までの自身の体験を振り返りながら「夢には簡単にはたどり着かない。でもそれを発信することで周りの人が応援や後押しをしてくれる。自分に限界を作らず、夢に向かって一つひとつチャレンジして欲しい」と子どもたちに伝えていました。



小松さつき会長（前列右）から門脇市長に、目録が寄贈されました。

### 国際ソロプチミスト大曲が寄贈

6月26日、国際ソロプチミスト大曲（小松さつき会長）から市内の放課後児童クラブの児童図書購入のため、10万円相当の目録が寄贈されました。

国際ソロプチミスト大曲は、1992年の認証以来、子育て支援やDV（ドメスティックバイオレンス）防止啓発活動を行ったり、大仙市・仙北市・美郷町の施設に毎年備品や遊具を寄贈したりしています。5年前には、仙北市水害復旧災害支援金の寄付もいただいています。

今回、寄贈されたのは、5月13日に開催されたチャリティーコンサートの収益金。今後、市内児童クラブに不足している図書を購入し、子どもたちの夢を育む活動に活用させていただきます。



### 栗林聡子 ロビーコンサート

LIVE

会場は栗林さんの優しい歌声に包まれていました。

6月23日、仙北市民会館ロビーコンサート「栗林聡子ライブ」が開催されました。

栗林さんは美郷町出身。4歳からピアノを始め、NHKのど自慢チャンピオン大会出場や「テレビ東京 カラオケ☆バトル全国No1選手権2」で優勝するなど県内外で活躍しています。

当日は、2017年に出演した仙北市音楽劇「クニマスの色はいのち色」より「みんな生きている」をはじめ、様々なジャンルの曲をピアノによる弾き語りやカラオケで熱唱。「久しぶりにクニマスの歌を歌ったがとても緊張した。会場に来るときは景色が懐かしくやっぱりこの土地が好きだと思った。地元の方もたくさんいらして下さって、また仙北市で歌えるように頑張っていきたい」と話しました。

また、観客の1人は「数年前から栗林さんのファンになり何十回と聞きに行っている。ロビーコンサートは、大ホールよりもステージが低く距離も近いので親しみやすかった」と話しました。

6月7日、琴丘総合体育館（三種町）で開かれた「秋田県文化財保護協会総会」で沼田欣治郎さん（西木町文化財保護協会顧問）が秋田県文化財保護協会功労表彰を受賞しました。

沼田さんは、平成17年から5年間、西木町文化財保護協会会長を務めたほか、仙北市文化財保護審議委員会委員を務めるなど長年にわたり文化財の大切さや保護の啓発活動に尽力されたとして今回の受賞となりました。

### 秋田県文化財保護協会 沼田欣治郎さん功労表彰



門脇市長（左）に受賞の報告に訪れた沼田さん（右）。

6月9日・10日、福岡県で開催された「第68回全日本実業柔道団体対抗大会」で、角館柔人クラブの指導者が所属する実業団チーム『ミナミ』が20回出場したことにより、戸堀淳さんと戸澤敏之さんが特別功労賞を受賞しました。

『ミナミ』は、平成10年に県南地区の柔道愛好者を募り結成。以後、本大会に毎年出場を重ね、平成12年と平成16年には、団体3位に入賞しています。

### 角館柔人クラブの指導者が特別功労賞を受賞



特別功労賞を受賞した角館柔人クラブ指導者の戸堀淳さん（左）と戸澤敏之さん（右）。



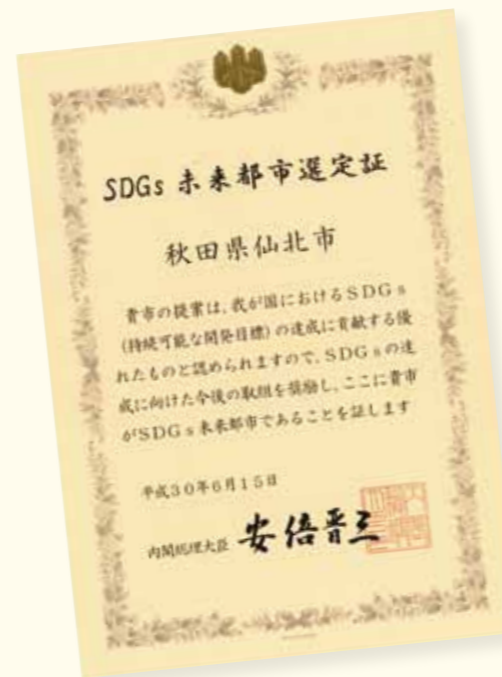
「SDGs未来都市」選定証の授与式に出席する門脇市長（中央）。

### 仙北市がSDGs未来都市に選ばれました！

6月15日、国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて優れた取組を提案した全国29自治体の1つとして、仙北市が「SDGs未来都市」に選定されました。

仙北市は「小さな国際文化都市」市民が創る誇りあるまち」を将来像に掲げ、平成28年3月に「第2次仙北市総合計画」を策定しました。まちづくりの基本理念「健やかに美しく輝くまち」のもと、市民と行政が協働しつつ、誰もが安心して住み続けたいと思うまちづくりを進めています。

これらの取組は、SDGs達成のための取組となるもので、SDGs未来都市に選定された自治体には、国からの支援策が集中投入されることにな



※持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲット、244の指標から構成されており、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。



誰一人として取り残さない社会の実現に向けて「社会」「経済」「環境」の3側面の取組を統合的に進めていく国連のSDGs達成の考え方を活用することで、市が抱える地域課題である人口減少や少子高齢化を解決し、若い世代が定住できるような雇用の創出や健康寿命の延伸など、すべての市民が健やかに安心して暮らせるまちづくりを加速化していきます。

市では、持続可能な開発目標（SDGs）推進本部を設置し、SDGs達成に向けた取組を開始しています。今後の取組方針については、広報などお知らせします。